

25th
Anniversary

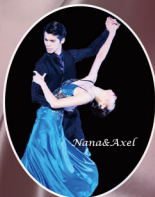
小松亮太

アルゼンチン・タンゴ・コンサート

小松亮太がデビュー25周年に贈る昭和タンゴ・プレイバック

豪華ミュージシャン、「タンゴ選手権」ダンスチャンピオンが繰り広げるスペシャルステージ！

Argentine Tango Concert



Bandoneón
小松亮太
© Arata Kato

- ♪ ラ・クンパルシータ
- ♪ 夜のブラットホーム
- ♪ 風の詩〜THE 世界遺産
- ♪ 目覚め〜ネスカフェールドブレンドのテーマ
- ♪ リベルタンゴ
- ♪ 薔薇は美しく散る(7メ『ベルサイユのばら・テーマ曲』)
- ♪ 他

(曲目は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。)



バンドネオンの第一人者・小松亮太 & 信頼熱き仲間たち

Bandoneón	Vn.	Vn.	Va.	Vc.
北村聡	近藤久美子	専光秀紀	吉田有紀子	松本卓也
Gt.	Pf.	Cb.	Perc.	Perc.
桜井芳樹	熊田洋	田中伸司	小林穂未	竹本一匹



©木村龍平

野田市文化会館委託文化事業

2024 6/15 [SAT]
野田ガスホール
(野田市文化会館)

開場 15:30 開演 16:00
入場料 : 4,000 円【全席指定】

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

チケット発売日 令和6年1月20日(土)

【窓口販売】 ※販売時間は各店舗の開店時間に準じます

野田ガスホール (野田市文化会館)	TEL. 04-7124-1555
野田市生涯学習センター	TEL. 04-7123-7818
ブックスエンドウ川商店	TEL. 04-7129-4658
流山市生涯学習センター	TEL. 04-7150-7474
お茶のあらい園 (板東市)	TEL. 0297-36-0330

【電話受付】

カンフェティ (平日 10:00~18:00) TEL. 0120-240-540

【WEB販売】

野田ガスホールホームページ
チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/komaturyota>
イープラス <https://eplus.jp/4020030001-P0030001>
カンフェティ <https://www.confetti-web.com/komaturyota>

【主催・問合せ】野田ガスホール (野田市文化会館) ☎ 04-7124-1555 〒278-0003 千葉県野田市鶴巻 5-1 (8:30 ~ 17:15・休曜日：月曜日)

【企画・制作】エフ・スクエア

Profile

小松 亮太 (バンドネオン)

1973年 東京 足立区出身。98年にCDデビューを果たして以来、カーネギーホールやアルゼンチン・ブエノスアイレスなどでは、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。アルバムはソニーミュージックより20枚以上を制作。『ライブ・イン・TOKYO ~2002』がアルゼンチンで高く評価され、03年にはアルゼンチン音楽家組合(AAOI)、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。15年にリリースした大賞アルバム『Tinta』は、第57回輝く！日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞。作曲活動も旺盛で、TBS系列『THE 世界遺産』OP曲「風の詩」、映画『ガスコイニの伝記』(手塚プロダクション制作)、など多数を手掛けている。400ページ以上わたる書籍『タンゴの真実』(旬報社)を2021年に上梓した。

公式サイト <https://ryotokomatsu.net/>

© Arata Kato



北村 聡 (バンドネオン)

関西大学在学中にバンドネオンに出会い小松亮太、フリオ・パネに師事。世界各国のフェスティバルに出演。これまでに館野泉、鈴木大介、波多野雄美、川岸都子、EGO-WRAPPER、東京交響楽団、東京フーバーニオ交響楽団と共演。NHK「青天を衝け」、映画「マスカレード・ナイト」をはじめ様々な録音に参加している。数多直録アルバム、クラシック・ジャズ・ロック・ポップスなど数多くの楽曲に参加、活動中。



© Haruka Maki

専光 光紀 (ヴァイオリン)

3歳からヴァイオリンを始める。東京音楽大学卒。クラシックを本専攻、編曲科に師事。大学在学中より小松亮太、オスカル・ティビカ、ツァーに参加し音楽活動を開始。タンゴの世界に深く傾倒する。2012年アルゼンチンに渡り、アリエル・エスパンディオ、ガブリエル・リーバ、パブロ・アグリの三様にタンゴ・バイオリンを師事。日本には数少ないコルネット・ヴァイオリンも演奏し、現在、小松亮子タンゴトリオ、タンゴ楽団メンバー等として活躍中。



松本 卓以 (チェロ)

東京藝術大学卒。同大学院修了。編曲家受賞。藝大定期にてサン・ホセのチェロ協奏曲を協演。バロックから現代、タングまで精力的に演奏活動を展開しており、特に現代音楽の分野では450曲を超える和演を行ってきた。カルタレット・アル・コ、Ensemble Contemporary a、アンサンブル東京、小亮太とオスカル・ティビカのメンバー。東京藝術大学及び付属音楽高校非常勤講師、藝大フィルハーモニア管弦楽団在籍。



熊田 洋 (ピアノ)

東京音楽大学音楽学部卒。卒業後、アルゼンチン・タンゴと出会い、アーティスト・編曲家の道へ。1977年、小松亮太と「タンゴ・エス」に参加。同楽団に編曲・オリジナル曲を多数提供。現在、「エル・タンゴ・ビードロ」「ジャノ・タンゴ」「鬼馬野郎・タンゴ」、近藤久美子とのデュオ(タンゴだけでなく、クラシック・現代音楽・オリジナル作品)等も活躍中。



小林 照未 (パーカッション)

3歳よりマリンバをはじめ。国立音楽大学音楽学部卒。同大学院修了。打楽器プレーヤーとしてマリンバ、ヴィブラフォン、スティンバなどを中心とした、幅広いジャンルでの活動を展開。CD・CM・TV等のコーポレーション、コンサートにて演奏活動中。打楽器アンサンブル、吹奏楽コンサートでは全国各都府県で公演を行う。学生、若手、社会人の方々へマリンバやスティンバの演奏指導も行っている。



Axel (アクセル新垣) (ダンス)

愛知出身。ダンサーの母の元、13歳よりダンスを始める。アルゼンチン・タンゴ、ヒップホップ、バレエ、ジャズ・ダンス等の様々なダンスを学ぶ多くの舞台に出演。高校卒業後、プロ・デビューし、アルゼンチンではブエノスアイレスにタンゴ留学。2016年のアルゼンチン・タンゴダンスフェスティバル「7th」となり、2017年頃に優勝を果たし世界チャンピオンとなる。その後、民芸音楽協会の主催する試合「タンゴ・シリーズ」でドラマチックタンゴ、でファビオ・ハゲルと共に出る日本全国ツアーに参加。最近ではアジア各国やヨーロッパにも活動の幅を広げている。



Nana (高野菜々) (ダンス)

愛知県名古屋市にて8歳からクラシックバレエを学ぶ。松本通子、黒田朝香らに師事。2013年あいとりエンターテインメント「トルビル公演」にて「舞姫」主演。のちにアルゼンチン・タンゴに出会い、タンゴ・ダンサーに転向。2021年 Chique Tango Chiquitiship ステージ・タンゴ・フェスティバル、2022年、2023年の3年連続でタンゴ・ダンス・アジア選手権大会ステージ部門において優勝。また2019年、2021年、2023年の3年に渡り、同大会にて将来有望なカップルに贈られる「JTA 特別賞」を受賞。2022年 Campeonato Mundial de Tango (アルゼンチン・タンゴ世界大会) セミファイナルに進出。現在、東京を中心にレッスンやコンサート出演の機会を広げている。



近藤 久美子 (ヴァイオリン)

東京音楽大学卒。タンゴ・ヴァイオリンを神野眞、フェルナン・ド・スレス・バス両氏に師事。西郷祐三とオスカル・ティビカ・パネを経て、バンドネオン奏者、小松亮太のユニットの主要メンバーとして活躍。アルゼンチン・タンゴ界のビジュアル・アーティストと多数競演している。また、ブラジルの民族楽器バンドリンの奏者としてもショーロ・ユニット「アレグリア・ド・ショーロ」を結成し、マウリシオ・カニョとジョージ・ジュニョ・ド・バンドリノなど著名アーティストとコンサートを行っている。



© 藤村元貴

吉田 有紀子 (ヴィオラ)

桐朋学園大学音楽学部を経て同大学研究科修了。1994年弦楽四重奏団「クアルテット・エクスセルソ」を結成。第2回大阪府室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位。第5回ホロ・ホルン・オーケストラ国際弦楽四重奏コンクール最高位。第16回ホロ・ホルン・オーケストラ音楽祭など多数受賞。クアルテット・エクスセルソを中心に幅広く活動している。演奏家・編曲家・作曲者・指揮者・音楽監督・音楽家として、東京藝術大学及び付属音楽高校非常勤講師。



桜井 芳樹 (ギター)

音楽家、ギタリスト。フォークロアから時代性、そして超時代性、様々な形態と創造性を駆使したスタイル評価を得る。ロサンゼルス・ストリングス、ホープ・マックス・マックス・マックスのスタジワークやサポート・ミュージシャンとして幅広くレコーディングやコンサート・ツアー、ライブに参加。その他、CM、映画音楽、劇作、プロデュース、アレンジと活動は多岐に渡る。



田中 伸司 (コントラバス)

18歳でコントラバスに出会い中博昭氏に師事。国立音楽大学卒。20歳より室内楽を中心に演奏活動を開始。90年に以降は多くのスタジオワークに参加。一方、91年にアルゼンチン・タンゴの巨匠、志賀達(Val)、藤沢美子(Val)の演奏に感銘を受けタンゴに傾倒。90年代たびたび渡米し手元、カルロス・モンテ・モンテ・モンテ・モンテ、京谷弘司氏のグループを経て、94年より小松亮太のユニットに参加。97年、ライブに参加。19年にP. エステリ・グリアのトリオで西日本ツアーを行う。



© 藤村元貴

竹本 一匹 (パーカッション)

長崎県出身。ハバタ高等芸術大学(Instituto Superior de Arte de la Habana)にてパーカッションを学び、ブラジルのバイヤーにて音楽活動を開始。1994年帰国後、ジャンルの壁を飛び越え様々なアーティストのライブサポートやレコーディングのスタジオワークやセッション活動など幅広く活動中。パーカッションという打楽器が持ち合わせる音の魅力と可能性により追い続けている。



◆ アクセス ◆

野田ガスホール(野田市文化会館) TEL 04-7124-1555
〒278-0003 千葉県野田市鶴巻5番地1

■ 電車

東武野田線(アーバーライン)「愛宕駅」

より徒歩15分

■ バス

東武野田線(アーバーライン)「愛宕駅」下車

「愛宕駅」バス停より

「まのめ」

北(清水・堤台)、中、南(愛宕駅)、南(鶴巻)

新南ルート「市役所」下車1分

「茨城通」バス(東武線)もしくは「文化会館前」

下車3分

※駐車場には限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

